

製品名: LC3A/B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03870**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14,16 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP1LC3A/MAP1LC3B
別名	LC3; LC3A; ATG8E; MAP1ALC3; MAP1BLC3; MAP1LC3A; LC3B; ATG8F; MAP1LC3B-a; MAP1A/1BLC3; MAP1LC3B
遺伝子 ID	84557/81631
SwissProt ID	Q9H492/Q9GZQ8
免疫原	-

背景

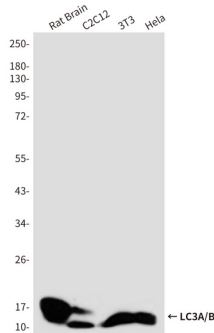
マクロオートファジーは、真核細胞における細胞質成分の一般的なターンオーバーの主要な誘導経路であり、栄養飢餓時の活性細胞

質酵素および細胞小器官の分解にも関与しています。マクロオートファジーでは、分解対象となる細胞質成分を膜結合構造で囲む二重膜結合型オートファゴソームの形成が関与しています。このオートファゴソームはその後、リソソーム（または液胞）と融合し、単膜結合型オートファジー小体を放出します。このオートファジー小体はその後、リソソーム（または液胞）内で分解されます。MAP1A および MAP1B は、微小管と細胞骨格成分との物理的相互作用を媒介する微小管関連タンパク質です。これらのタンパク質は、オートファゴソーム液胞（オートファゴソーム）の形成に関与しています。MAP1A および MAP1B はそれぞれ、重鎖サブユニットと複数の軽鎖サブユニットで構成されています。MAP1LC3a は軽鎖サブユニットの一つであり、MAP1A または MAP1B のいずれかと会合することができます。前駆体分子は APG4B/ATG4B によって切断され、細胞質型 LC3-I を形成します。これは APG7L/ATG7 によって活性化され、ATG3 に転移され、リン脂質と共役して膜結合型 LC3-II を形成します。

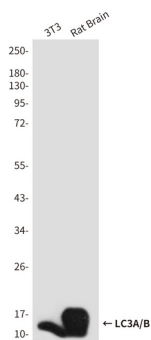
研究分野

シグナル伝達

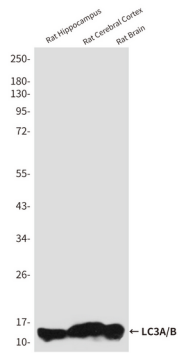
画像データ



LC3A/B 抗体を使用したラット脳、C2C12、3T3、および HeLa 溶解物中の LC3A/B のウエスタン ブロット分析。



LC3A/B 抗体を使用した 3T3 およびラット脳溶解物中の LC3A/B のウエスタン ブロット分析。



LC3A/B 抗体を使用したラット海馬、ラット大脳皮質、ラット脳溶解物における LC3A/B のウエスタンブロット分析。